

果樹収穫作業用自動追従運搬車を開発！

株式会社城南製作所と工業技術総合センターによる記者会見を開催します

株式会社城南製作所(上田市)は、果樹の運搬作業を省力化する低コストで使いやすい、自動追従運搬車を開発しました。工業技術総合センター環境・情報技術部門(松本市)は、プロダクトデザインと身体負荷軽減効果の検証を支援しました。

日時 令和8年9月28日(月)13時30分から

場所 記者発表 県庁本館3階会見場
デモンストレーション 県庁本館東側駐輪場(雨天の場合は場所を変更します)

テーマ 果樹収穫作業用自動追従運搬車「Folloone(フォローン)」の開発

発表者 株式会社城南製作所、工業技術総合センター 環境・情報技術部門
会見のポイント

- ・独自の超音波センサー技術を用い、人追従型スマート運搬車を開発
- ・動作計測システムを用いた解析により、作業負荷低減効果を確認
- ・直感的な操作性を実現するインターフェースを開発

背景

果樹栽培の現場では、多くの作業が人手に依存しており、農業従事者の高齢化による労働力不足が大きな課題となっています。また、収穫運搬作業における安全確保や、長時間労働・重量物運搬による身体的負担の軽減も求められています。その解決策として、スマート農業機械の活用が考えられますが、導入コストや維持管理負担が大きく、操作性にも課題があり、一般農家への普及が進んでいない状況です。

※追従運搬車「Folloone(フォローン)」を、第16回農業WEEK(R8.10.7~9)に出展します。



開発した追従運搬車「Folloone」

追従運搬車の導入により、
腰部・大腿部の身体負荷が大幅に低減

腰部の身体負荷

大腿部の身体負荷



62%
減



72%
減

従来作業を100とした場合の低減率

※モーションキャプチャーと筋骨格解析ソフトによる検証